



## 学会創設 10 周年に際して

保健医療学学会 第 5 回学術集会長

大阪保健医療大学 保健医療学部  
リハビリテーション学科 理学療法学専攻

教授 井上 悟

私が教員になりましてすぐに 2013(平成 25)年 4 月～本学会の理事になれと、西村敦先生(故人、藍野大学)と小柳磨毅先生(現副会長)に上手く乗せられて入会、すぐに学術集会長のお役が回ってきました。どうもそのために入会させられたようですか？ その時ちょうど本学術集会も第 5 回目を迎え、運営上の担当大学が一巡し大阪保健医療大学に戻ってきたため、急きよ、私(年の功?)が担当者として開催する運びとなりました。

学会前年の総会で、前学会長の渡辺正仁先生から、本学術集会の運営方針として、「小じんまりとした研究会型で、運営の負担も少なく、長く継続できる学会を目指したい!」とおっしゃられ賛同したことを記憶しています。そして本学会の目的である、大学・養成校卒業後さらに大学院での研究継続を支援し、身近な意見交換の場を創ることを達成できるよう努めました。さらに運営上の方法をいくつか、私のわがままで変更させていただきました。①担当が一巡しましたので、担当大学がすべてを担当・

仕切るのではなく、会員大学にも運営の役割分担をしていただき進めてほしいという希望。②また会場も大阪府立大学のご協力のもと、府大サテライトの I-site なんば利用で学外へ会場を出すことも試みました。

プログラムは、①一般演題 9 題、②特別講演 1 「我が国における理学療法士の現状と展望～理学療法士のリハビリテーションマインド」、講師 石川県立リハセンター次長 日本理学療法士協会理事:荒木茂先生、③特別講演 2 「我が国における作業療法士の現状と展望～経験を振り返り次世代へ」、講師 大阪府作業療法士協会副会長:山下協子先生でした。当日は多数の参会者をお迎えし、無事に学術集会を開催することができました。これも会員の皆様方の格別のご協力とご支援の賜物とこの紙面をお借りし、改めまして心より御礼申し上げます。そして本会が 10 周年を迎え一層の発展・充実できることを祈念します。